

# HiKaLo News

Highland Kantō Lafsolm Organization

発行所

特定非営利活動法人  
**北関東産官学研究会**  
群馬県桐生市織姫町2-5  
桐生地域工場産業振興センター4階  
郵便番号376-0024 電話0277-46-1060

# 要望に耳を貸し

## 苦境克服へ役立つ事業を 本研究会 2021年総会も書面議決

本研究会(根津紀久雄会長)の2021年度定例総会が行われた。新型コロナウイルスの感染防止配慮し、前年度に続き2年連続で書面による審議に。主要事業である産官学共同研究への助成をはじめ、共創をテーマにした市民公開講座や会員向けのSDGs講座の開催、農業種交流事業のオンラインプログラムの継続など、新規を含む事業計画案や、約300万円(前年度比約7.8%減)の予算案が賛成多数で書面議決された。前年度は新型コロナ禍で実施できなかったが、今年度は首都圏産官学活性化協会(TAMA協会)との連携などの新たな動きを含め、会員企業や市民の活動に役立つ事業に取り組む方針」と、根津会長は抱負を語る。

本研究会は、産官学のつなぎ、地域の産業、経済、文化、教育の振興と、民間企業や大学・公産を旨としている。20年度決算については、収入の差額約400万円。採択件数は前年より2件少ない140件を6人中の審査員が審査し、8件を採択した。助成総額は約140万円。採択件数は前年より2件少ない140件を6人中の審査員が審査し、8件を採択した。申請のうち共同研究成果報告会や会員向けセミナーなど複数の事業がコロナで中止となり、支出が縮小した。書面による審議・議決に。今年度も月中旬に民間企業などを含め、22年度事業に関する協議、市民団体などを開催しているが、2021年度事業について

本研究会は首都圏産官学活性化協会(TAMA協会)と、野長瀬桐生市、事務局・東京都八王子市との連携に向けた活動を始めた。同組織は2000年代、関東経済圏が推進する地域産業活性化プロジェクトの1環として、地域の特徴と競争力を兼ね備えた世界に通用する産業集積(産業クラスター)の推進を目指し、産官学のネットワーク化に力を注いだ経緯がある。もつくり企業が集まる北関東エリアに産業クラスターを創出する

## まずは人材交流から

本研究会は2002年以降、クラスター創出には、特色のある地域を推進役である「首都圏うしがエリ」の松を越えて人材交流や情報共有を北部地域産業活性化推進ネットワークの事務局図をこぞ「イノベーション」を担い、造営活動を展開した。同組織は2000年代、関東経済圏が推進する地域産業活性化プロジェクトの1環として、地域の特徴と競争力を兼ね備えた世界に通用する産業集積(産業クラスター)の推進を目指し、産官学のネットワーク化を目指し、産官学活性化協会(TAMA協会)の会長の相互参加などを視野に、上田マツチンが事業へ世に力をつけてきた。「TAMA協会の会長の相互参加などを視野に、連携を模索予定。今後、産官学協会の協力を得ながら、2000年代、産業活動した」と、根津会長は展開に期待を寄せ

## TAMA協会と連携模索

【メエ】首都圏産官学活性化協会＝産業クラスター形成の推進組織として1998(平成10)年に設立された。設立当時の名称はTAMA Advanced Metropolitan Area (技術先進首都圏地域)の略。現在は一般社団法人化されたが、神奈川県中央部にまたがる首都圏西部の産官学金民の製品開発力強化や、市場の拡大、さらに新規創業環境の整備を通じ、イノベーションの創出に挑んでいる。会員は企業・教育機関・コーポレート・金融機関、団体、金融機関、コーポレート・自治体、476。

【メエ】首都圏産官学活性化協会＝産業クラスター形成の推進組織として1998(平成10)年に設立された。設立当時の名称はTAMA Advanced Metropolitan Area (技術先進首都圏地域)の略。現在は一般社団法人化されたが、神奈川県中央部にまたがる首都圏西部の産官学金民の製品開発力強化や、市場の拡大、さらに新規創業環境の整備を通じ、イノベーションの創出に挑んでいる。会員は企業・教育機関、コーポレート・自治体、476。

### 令和3年度共同研究 採択一覧

区分	申請者名	所在地	開発テーマ	共同研究先
第1種	泉織物有限公司	桐生市東	桐生織物用織機の再生技術の開発	産官学技術センター 織維工業試験場
	有株式会社 スズキフーバー	桐生市相生町	人工知能(AI)を用いた織物検査システムの開発	産官学技術センター 織維工業試験場
	株式会社 矢野	桐生市本町	長期間効果を発揮するシルク-絹タンニンハイブリッド型抗ウイルス加工剤の開発	産官学技術センター 織維工業試験場 株式会社アト
	須臾株式会社	桐生市東	抗菌性とアグツジョン性に優れた銅織維織物の混用法最適化と新規用途開発	織維工業試験場 桐生短期大学
	朝倉染布株式会社	桐生市浜松町	布帛表面への薄膜コーティング処理による感染抑制対策材料の開発	織維工業試験場
第2種	株式会社 丸中	桐生市元宿町	スリット糸を利用した織物/バーレーション素材の開発	織維工業試験場
	群馬産業技術センター	前橋市亀里町	塩基性カルンクム化合物を用いた廃食用油改質ガス中の二酸化炭素回収技術の確立	桐生ガス
第2種	群馬産業技術センター	前橋市亀里町	産官学サイエンスイノベーション粉末を用いた吸放湿性内装材の開発	ベスト資材株式会社

## 2021年度 織維からみでのテーマ多く

共同研究の助成対象決まる

本研究会は6月30日、2021年度産官学共同研究助成事業の採択結果を発表した。申請のうち共同研究成果報告会や会員向けセミナーなど複数の事業がコロナで中止となり、支出が縮小した。書面による審議・議決に。今年度も月中旬に民間企業などを含め、22年度事業に関する協議、市民団体などを開催しているが、2021年度事業について

### 若葉

社会学や経済学、産業論、人口論などの知識もない機械工学者の筆者が語るに、はてがましいのだが、SDGsと地方創生とのつながり。本会では産官学金の活用は、産官学活性化協会(TAMA協会)との連携などの新たな動きを含め、会員企業や市民の活動に役立つ事業に取り組む方針」と、根津会長は抱負を語る。今年度は織維からの開発テーマが多く、地元産官学技術センターと共同研究を実施し、一緒に勉強して実行できるコミュニティを作るの目標を掲げ、SDGsの目標を明確化し、事業を開始したいと志している。高齢化と少子化が進み、人口は減少、消費活動が低下し、経済も雇用も縮小する。この悪循環にある。国の意向を受け、自治体や商工会議所は地域経済分析システムを使って各種分析・研究に取り組んだはず。その結果を地域経済活性化に十分活用しているといえるだろうか。産官学金の活用は、産官学活性化協会(TAMA協会)との連携などの新たな動きを含め、会員企業や市民の活動に役立つ事業に取り組む方針」と、根津会長は抱負を語る。

